

4. 生物

調査項目: 工事区域周辺の潮間帯生物観察

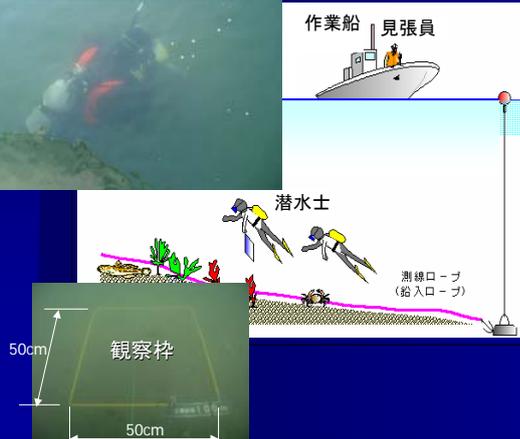
調査方法: ライトランセクトによる調査

調査日: 平成19年4月17日

水面下での
ライトランセクト調査の状況

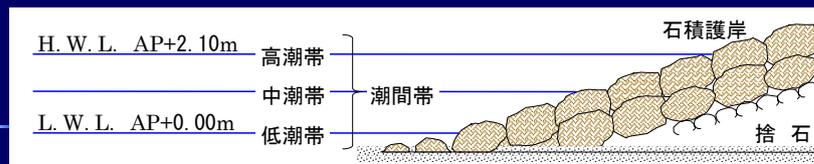


水面上で
ライトランセクト調査の状況



15

護岸部潮間帯への生物の着生状況 ① 種類数



1工区における潮間帯動物の種類数比較(ライトランセクト法)

種類数/0.25㎡

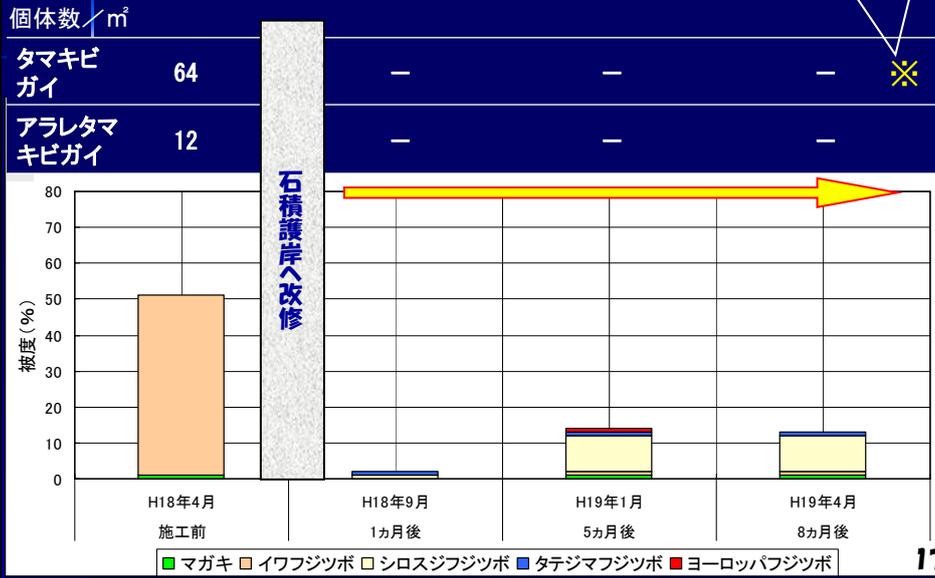
	施工前 春季:H18年3月 (直立護岸)	施工後約1ヶ月 秋季:H18年9月 (石積護岸)	施工後約5ヶ月 冬季:H19年1月 (石積護岸)	施工後約8ヶ月 春季:H19年4月 (石積護岸)
高潮帯	4	2	5	4
中潮帯	3	3	4	6
低潮帯	8	7	4	9

高潮帯は、フジツボ類を中心に横這い傾向。
中潮帯、低潮帯は、徐々に種類数が増加。

16

1工区における潮間帯動物の定着状況(高潮帯)

その後、H19年7月
現地踏査時に幼貝
多数の着生を確認



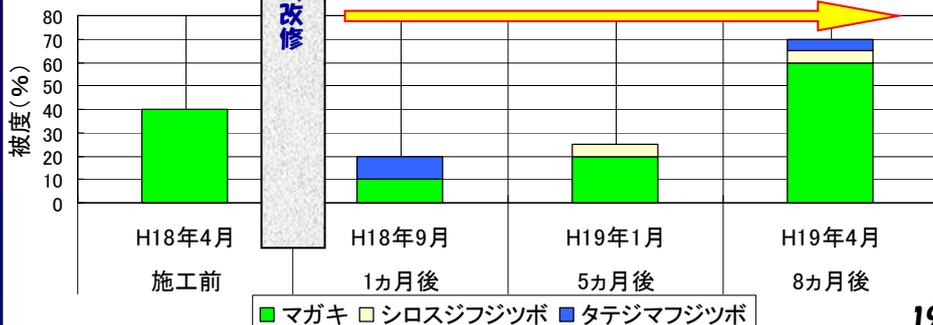
再定着が確認されたタマキビガイ(1工区高潮帯:施工後約11ヶ月)



1工区における潮間帯動物の定着状況(中潮帯)

個体数/m²

ヒラムシ目	—	—	4	—
タマキビガイ	4	—	—	—
イボニシ	12	—	—	8
フナムシ	—	12	—	—
スジエビ属	—	—	4	—
ヤドカリ類	—	—	—	24
ケフサイソガニ	—	—	—	4

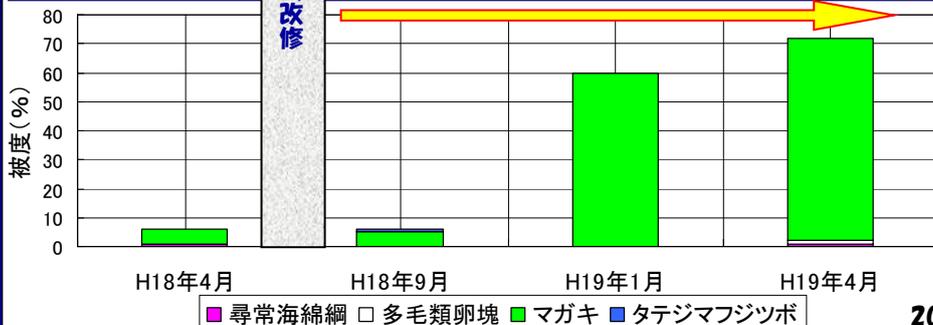


19

1工区における潮間帯動物の定着状況(低潮帯)

※魚類確認種は除外。 個体数/m²

アカニシ	—	—	—	4
イボニシ	—	4	—	4
アラムシロガイ	—	—	—	4
ウネナシマヤガイ	4	—	—	—
アサリ	4	—	—	—
スジエビ科	—	4	—	—
ヤドカリ類	—	4	8	8
ケフサイソガニ	8	8	4	4
ヒライソガニ	—	—	4	—
シロボヤ	—	—	—	4



20